

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市湘南台2丁目新築工事	階数	地上6F
建設地	藤沢市湘南台2丁目21番1	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域 準防火地域	平均居住人員	111人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年9月16日
敷地面積	1,246㎡	作成者	(株)設計集団宙組
建築面積	549㎡	確認日	2017年9月16日
延床面積	2,606㎡	確認者	(株)設計集団宙組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 (スコア: 3.2)

音環境	2.9
温熱環境	2.9
光・視環境	3.6
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能 (スコア: 3.2)

機能性	3.7
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	2.8

Q3 室外環境(敷地内) (スコア: 3.1)

生物環境	2.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア: 4.0)

建物外壁の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル (スコア: 2.7)

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	2.8
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.2)

地球温暖化への配慮	3.7
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建築地は湘南台駅からほど近いが、幹線道路からは離れているため、落ち着いたある良好な居住環境が得られるように計画した。また、地球温暖化や水資源確保など、地球環境にも配慮した。	その他 建設工事において発生する廃棄物は、徹底して分別を行い、資源のリサイクルに努める。
Q1 室内環境	住戸は明るく快適な環境とするために、開口部を大きく設ける計画とした。また、建物に使用する建築材料をほぼ全面的にF★★★★とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで、地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	高効率の設備システムを採用し、地球温暖化の抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 周辺環境に配慮し、屋外広告物は設置しない計画とした。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して、更新必要間隔を長くするように努めた。節水型器具の使用により、ランニングコストを抑えた計画となるように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	軽量鉄骨地下材、OAFローアの採用により、部材の再利用に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される